

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などでは指をはさんだりしないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。
- シェルフ類は、必ず2つ以上(上段・下段)を取付けてください。
- シェルフ類が水平になるように、それぞれのスリーブの高さが揃っているか確認してください。

- 本製品は屋内専用です。また、本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかりと組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水槽は絶対にのせないでください。シェルフ類がたわみ、水槽に無理な力がかかるため破損して水漏れ等の原因となります。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど火気の側での使用はお止めください。
- サビ(ウッドシェルフが同梱されている場合は、カビ)が発生する原因になりますので、湿気の多い場所での使用や本製品を濡れたまま放置するようなことはお止めください。濡れた場合は乾いたやわらかい布等で拭いてください。
- 直射日光など紫外線が当たる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面を使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床面では荷重でしずんだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いて使用してください。
- クッションフロア材(塩化ビニル樹脂)の上で使用する場合、環境(長時間同じ場所での固定・紫外線の多くあたる場所・温度の高い場所)などによっては、色移り(移行)現象によりクッションフロア材の表面が変色する場合があります。
- ものをのせる時は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。また、耐荷重を超えてものをのせないでください。
- 格子状のシェルフには、安定しないものはのせないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなど熱いものを直接置かないでください。
- AV機器・パソコン類・レンジなどの家電製品を設置する場合は、その取扱説明書に従って周囲に十分な隙間を確保して通気を良くしてください。家電製品の故障や火災の原因となります。
- 上段のみに集中して重いものをのせないでください。不安定になり転倒の原因になります。
- 本体にのぼったり・よりかかったり・座ったり・踏み台として使用することはお止めください。また、本体に手をついたり、つかまって立ち上がったたりしないでください。特に幼児や子供には注意してください。
- ストッパー付きキャスターが同梱されている場合は、必ずストッパーのロックをはずしてから移動してください。
- アジャスター使用時で本体を移動する時は、のせているものを全ておろし、ポール部分をしっかりと持ってゆっくり移動してください。ポール以外の部分だけを持上げると、構造上部品がはずれる可能性があるため非常に危険です。
- キャスター(オプションパーツの場合も含む)に変更して使用している場合、水平でない場所や平らではない場所の移動は、のせているものを全ておろし、ポール部分をしっかりと持ってゆっくり移動してください。
- 本体をより安定させたい場合は、建物の壁・床・天井などに市販の固定金具や固定部材(日曜大工売場などでお求めください。)でしっかりと固定してください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちに使用をお止めください。
- ◆シェルフについて：バンチングシェルフ・ウッドシェルフ・スライドシェルフ・ハーフシェルフ・ハンガーポール・置きシェルフ・ワイヤーバー・バスケット・コの字バーなどシェルフに相当する部品が同梱されている場合やお客様ご自身で追加購入して使用される場合は、シェルフと同様の注意が必要です。

- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。

定期的に各部(アジャスターなど)が緩んでいないか点検してください。

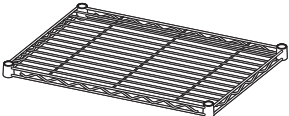
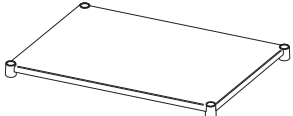
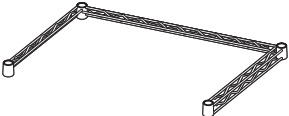
取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品 番	組立てサイズ(cm)			ポール径 (mm)	耐荷重(kg)※ ¹		
	幅	奥 行	高 さ		シェルフ(1枚あたり)	木棚	全体※ ²
EP5515-4	(約)54.5	(約)39.5	(約)151.5	φ19	50	50	200

※1 耐荷重の値は、シェルフに均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。※2 のせるものの合計荷重が、表記の全体耐荷重を超えないようにしてください。全体耐荷重は、シェルフなどを買い増した場合も表記と同じです。

※内容物を下記の明細に照らし合わせて、組み立てる前にご確認ください。

部品名	シェルフ	木棚	コの字バー	スリーブ
部品図				
数 量	3枚	1枚	1個	20組 + (予備1組)

部品名	ポール(分割式)	PPシート	フック
部品図	上部ポール ジョイント キャップ 中部ポール ジョイント ジョイント受け部分 下部ポール アジャスター ジョイント受け部分 予めアジャスターが付いています。		
数 量	各4本	3枚	2個

※イラストはイメージです。



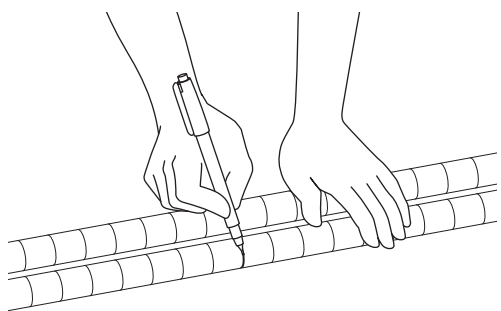
開梱時にシェルフのリングに付いているプラスチック部品は輸送時にシェルフを固定するものです。
組立てには必要ありません。

Lot No,

--

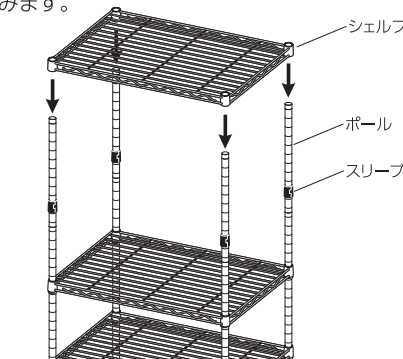
1 シェルフ取付けの位置決め

ポールに刻まれた溝がシェルフの位置になります。
それぞれのポールに同じ高さの印を付けると組立てやすくなります。

**5 各段のシェルフ類の取付け**

下の段から順に取付けます。

シェルフ類のそれぞれのリングに、スリーブを取付けたポールを差し込みます。

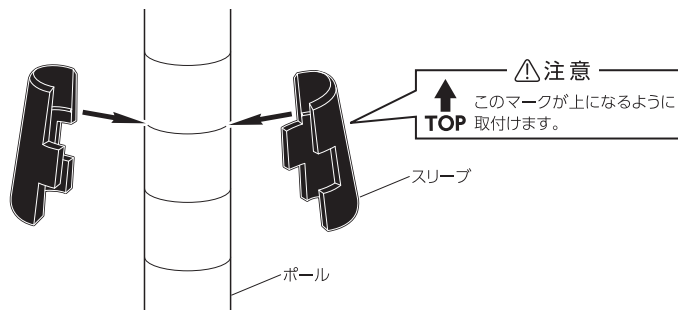


※詳しくは「シェルフの取付け方」を参照してください。

2 スリーブの取付け

スリーブは各段取付け時に取付けます。

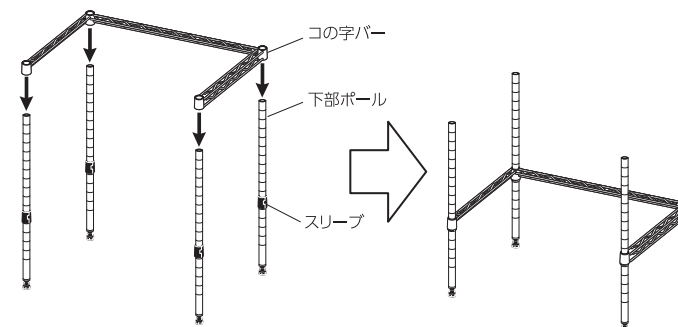
スリーブをポールの溝にはまるように取付けます。
取付けた後、スリーブが上下に動かないことを確認します。



※詳しくは「スリーブの取付け方」を参照してください。

3 コの字バーの取付け

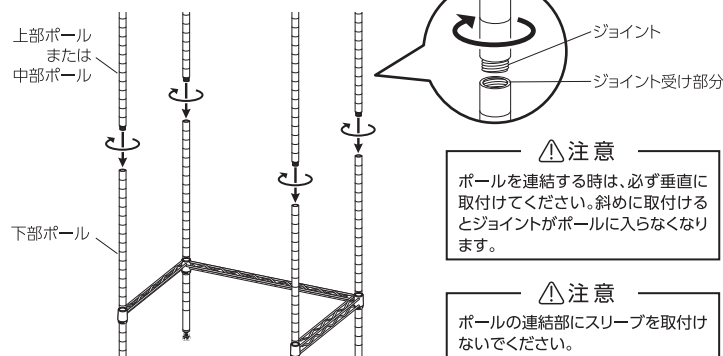
コの字バーのそれぞれのリングに、スリーブを取付けた下部ポールを差し込みます。



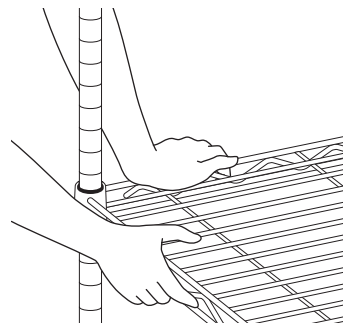
※詳しくは「シェルフの取付け方」を参照してください。

4 ポールの連結

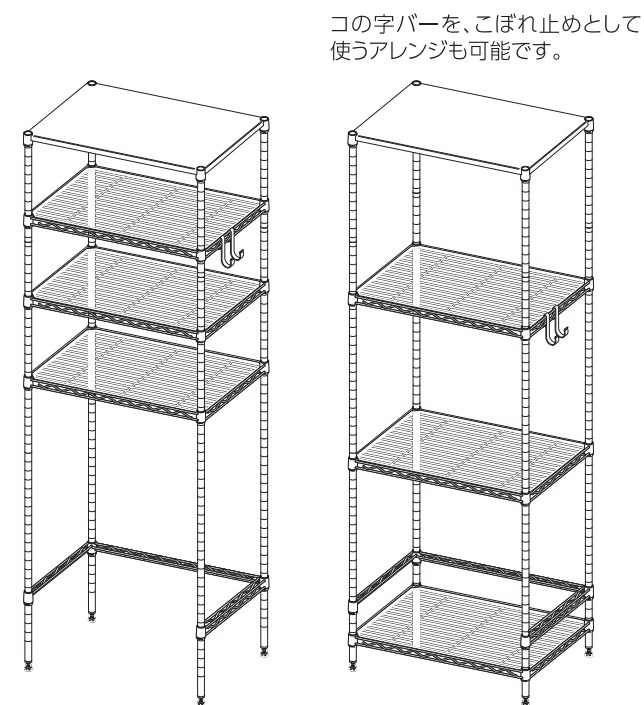
各部ポールについているジョイントを下部ポールのジョイント受け部分にねじ込みます。

**6 シェルフ類の固定**

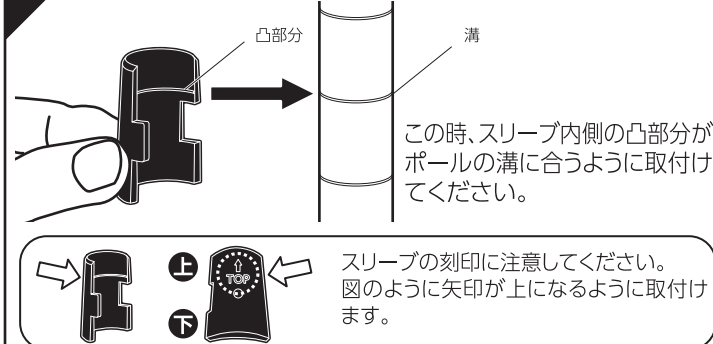
シェルフ類の外側を持って、確実に押し込みます。
その場合、中のワイヤーに力を加えたり、たたくようなことはお止めください。

**7 完成**

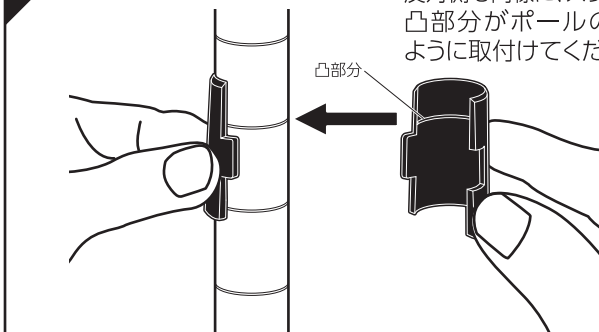
PPシートをシェルフの上に、フックをシェルフもしくはコの字バーに設置して完成です。シェルフ類は自由に位置を調節できます。



スリーブの取付け方

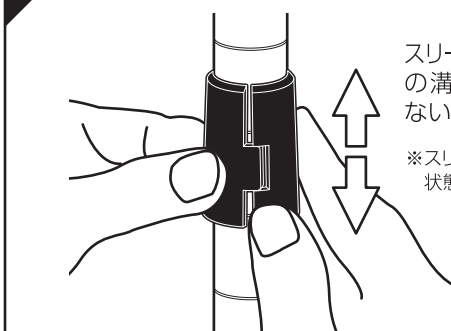
1 片側スリーブの取付け**2 反対側のスリーブ取付け**

反対側も同様に、スリーブ内側の凸部分がポールに合うように取付けてください。

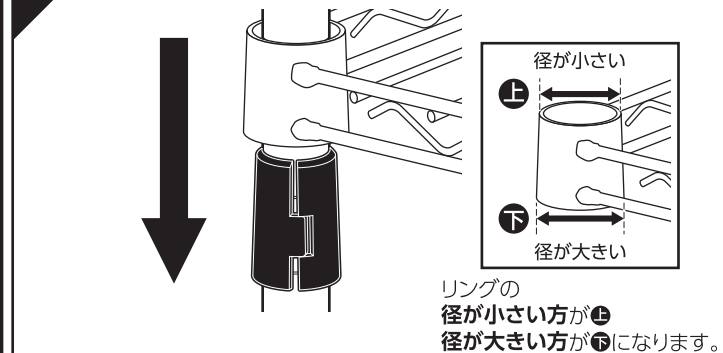
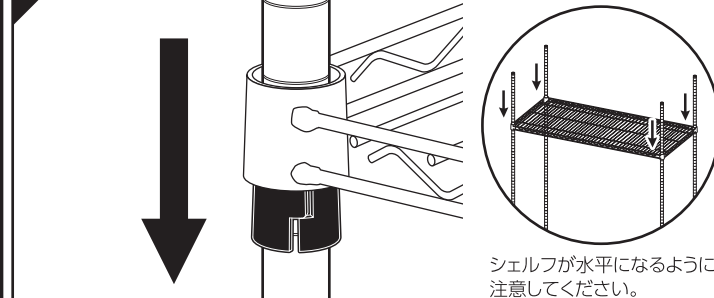
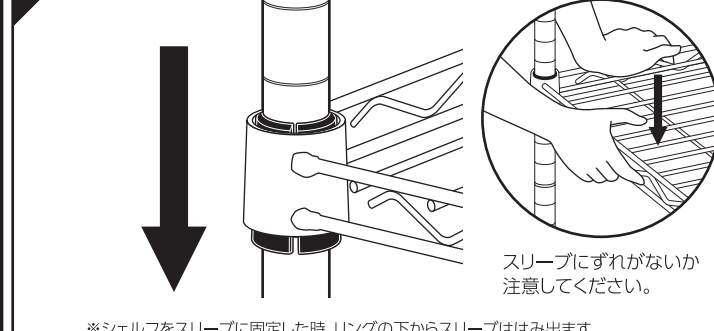
**3 取付けの確認**

スリーブ内側の凸部分がポールにハマって、上下にずれないことを確認してください。

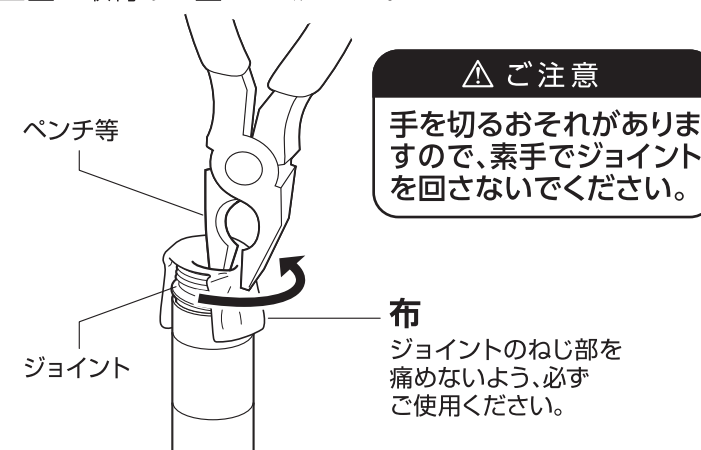
※スリーブはきちんと取付けられた状態でも隙間が出来ます。



シェルフの取付け方

1 シェルフを差し込む**2 シェルフの取付け****3 シェルフの固定****ポールの上下連結がうまくいかない場合**

ジョイントが斜めに入っている可能性があります。その場合は、ジョイントを布等で覆った上でペンチ等で挟み、下図の方向へ回して取外してください。その後、取外したジョイントを垂直に取付けし直してください。

**アジャスターについて**

アジャスターを回して、全ての脚が接地するように調整してください。その後、必ず本体が水平になっていることをご確認ください。

